

ここはある社宅長屋の一つの炊事場。何代にもわたって続いてきた、まずしい炭鉱労働者の暮らしをささえるところ。そんな暮らしにいつまで耐えよというのか。

# 拝啓、有吉石炭協会会長様

## 三池主婦会員、ハガキで訴え

三池主婦会は賃上げなど生活・労働条件を改善するために、三池労組が春闘に立ちあがり、委員会に「有吉新書・石炭協会会長と江崎真澄・通産大臣に、要求の切実さを知らせてもらうためにハガキを出しましょう」と呼びかけました。たちまち約二百通が集まりました。そのなかの二部を紹介しました。有吉・石炭協会会長と江崎・通産大臣には、果たして受けとられたでしょうか。

## パンク寸前の暮らし

炭鉱労働者の賃金がどのくらいか、ご存知でしょうか。地下何百メートル、温度四十度以上という真夏日より熱い中で、しかもいつ坑内災害が発生するかわからない所で、口も目もわかないように真黒になって働いていながら手取りで月に十三万円程度の主人の給料です。

夫は今四十歳の働き盛りですが、今の健康がいつまで続くのか心配でなりません。

有吉・石炭協会会長様お元気ですか。私たちが炭鉱労働者とその家族は、お陰様で、梅雨空のような憂うつな、頭が痛い毎日を過ごしているのです。運賃は上がり、物価は上がり、それなのに給料袋の中から家賃を天引きされ、おまげに会社

は賃上げ要求には応えないで、頭の痛くなるのは当然です。米国ではガソリン不足とか。日本もエネルギー節約を呼びかけています。石炭が売れないはずはない、労働者はダマサレサインの犠牲者が続出していきます。主人たちが命まで奪われかねない恐ろしい坑内での働くのも、生活のためだけに、

私には三池炭鉱に働く労働者の家族です。会社は、生産制限を売りにしています。年に二十六万トンの減産による減収が、二十六億円だそうです。そのための経費節約に、

病院の協力のおかげで設けられ、同病院が派遣してくれた水ノ江昭英・村崎保夫両医師に、森下澄子・越智信子両健康相談員が親切に相談する人に対し、アドバイスするかわら、握力、肺活量、視力、体重測定などおこないよるこばれていたが、このコーナーなど生協まつりのもつ意義に、さりと重みを加えていた。

## 生協まつり大盛況

### 期待したい今後の発展

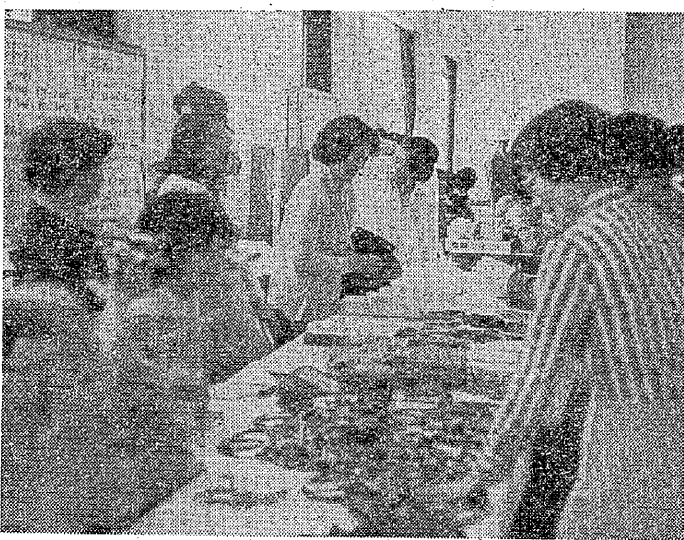
五月十九・二十日の二日間、大会館の二階から三階にかけて、生活奉田市民生活協同組合(会員約二千七百人)は第一回生協まつりを開催した。

まつりは「組合員、その家族を含めての相互の親睦と、組織の発展」を目的として催され、会場の大牟田労働福祉会館は両日ともに二千八百人近い人が集まりにわわらび、やってきました人びとをびっくりさせていた。

なかでも健康相談室は、平野山一カーが直接参加する商品が、食品の熱処理、有害動物の駆除などを手まめにやりました。

七月一日からの、全国安全衛生週間、運動に備え、この月には厳しい保安点検の実施が不可欠となる。がんばりましょう。災害を許すことは、一面では炭鉱労働者自身としても恥ずべきことですから、

みなで大いに生協を活用し、安心して暮らせる生活環境をつくり出しましょう。



大にぎわいだつた生協まつり

## 婦人集会を迎える

### 四山指導部 山本ツヤ子

今年 全国で協力し、仕事に行く人は、三池 仕事を休まず、帰ってから夕食の調理を出し合っていたが、にまなぶ のあとかたづけにきてもらい、話し合うようにしています。また交流に参加してもらっています。

三池にまなぶ婦人集会所の皆さんと、もともとの交流を深め、ともに資本に立ち向かい、闘うことを誓い合いたいと思います。

食卓の献立も各班で話し合、ついでにばいばいほど、私たちが、普段の食事を差し上げてお、全国の働く婦人の皆さん方と手をつなぎ、そして三池の火を全国へ広げながら、働く労働者家族としての基本を忘れず、生命

毎年の六月になると、全国から三池に学ぼうと婦人の皆さんが来組されます。

受け入れには分会で会議を開き、婦人の皆さんを泊めてもらう人、食事のお世話をしてくれる人、三分し、主婦会の会員が問題もあります。集会参加の

## 六月の暦

- 1日 気象記念日。鮎鱒祭。写真の日。電波の日。
- 2日 横浜開港記念日。
- 5日 環境週間スタート(世界環境デー)
- 7日 計画記念日。
- 10日 時(とき)の記念日。
- 11日 入梅。
- 17日 父の日。
- 22日 夏至。
- 23日 沖縄慰霊の日。
- 25日 救いの日。
- 28日 貿易記念日。
- 30日 大はらい。

各地で夏祭。長期予報に